

令和5年度復職支援研修
講義・演習コース実施報告

講義・演習コース2：令和5年9月6日（水）～9月7日（木）

1. 目的

就業を希望する者に対し、最近における看護知識・技術を修得させ、未就業看護職に再就職を促すとともに就業の継続支援を目的とする。

また、新たな看護業務の発生や看護職員の休業等で緊急の要請があった場合、協力可能な看護職が不安なく業務に従事できるようにする。

2. 開催日

講義・演習コース 2：令和 5 年 9 月 6 日（水）～9 月 7 日（木）

3. 開催場所

宮崎県看護等研修センター

4. プログラム

(講師敬称略)

回数	午前	午後
1 日目	開講式 9：20 看護の動向（9：30～10：30） 看護に関係する社会環境の変化や最近の看護に関する動き等を学ぶ 宮崎県ナースセンター長 荒川 貴代美 復職支援講座（10：40～11：20） ・職場の選び方・履歴書の書き方・職務経歴書の書き方・面接の受け方 宮崎県ナースセンター 小谷 やよい 自己紹介・意見交換（11：20～12：00） 受講生間の交流を深め、再就業への意欲をさらに高める。	感染管理（13：00～15：30） 感染の知識を深め、正しい感染予防の実際を学ぶ。感染予防の基本的技術を習得する。個人防護具の着脱の演習。 講師：平和台病院 感染管理認定看護師 柳原由美子
		ナースセンター登録の支援（希望者のみ）
2 日目	フィジカルアセスメント （9：30～12：00） 患者の状態から緊急性の有無を明確に判断・把握し、必要とされる看護ケアへつなげることー看護観察から判断まで（講義・演習） 講師：宮崎大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター 看護師長 渡邊 祐子	医療安全研修（13：00～15：00） 身近に起こりうる医療事故について知り、予防策について学ぶ。 講師：宮崎県立宮崎病院 医療安全管理科 リスクマネージャー 外山祥子
		研修の振り返り（15：30～16：00） キャリアシートを使って

5. 受講者の状況

① 受講者：12 名（未就業者 12 名）

② 取得看護免許

看護師 12 名

③ 年齢：30～60 歳（平均 49.1 歳）

年代	受講生数	構成比
～29 歳	0	0%
30～39 歳	1	8%

40～49 歳	5	42%
50～59 歳	5	42%
60 歳以上	1	8%

④ 看護職経験年数：0.2 年～14.5 年（平均 5.4 年）

経験年数	受講生数	構成比
1 年未満	0	0%
1～ 5 年未満	1	8%
5～10 年未満	4	34%
10～20 年未満	6	50%
20 年以上	1	8%

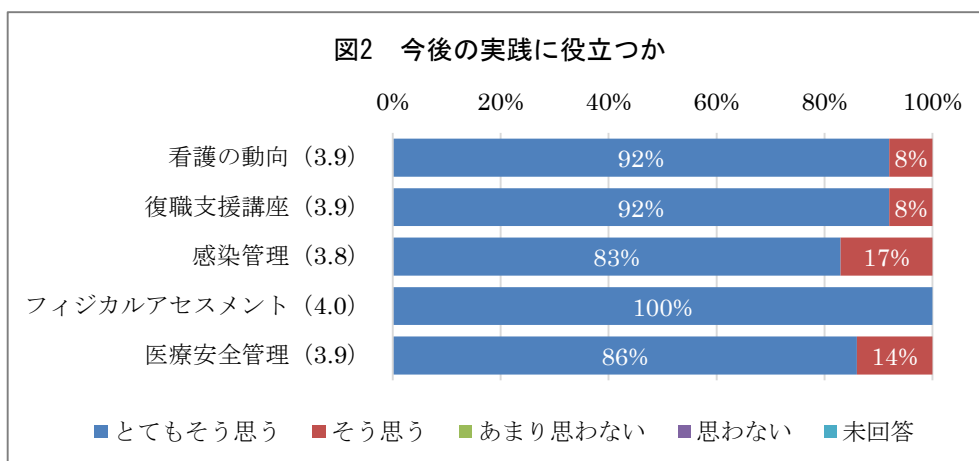
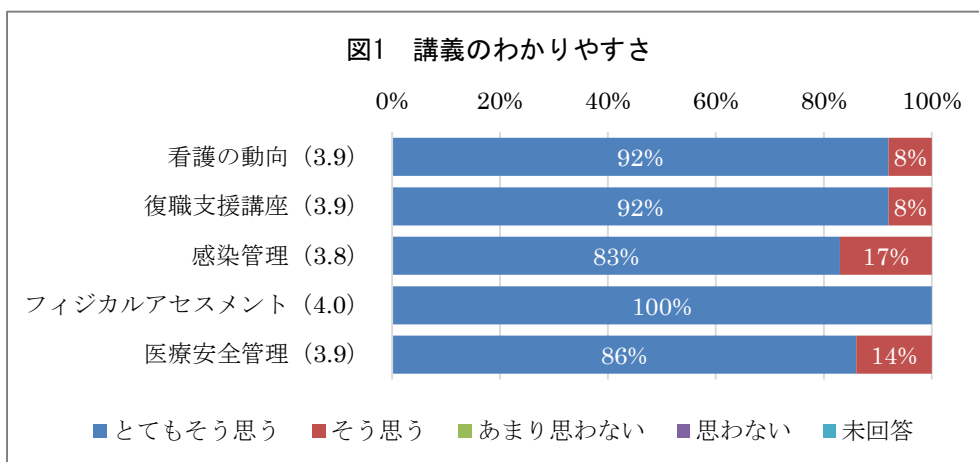
⑤ 未就業者 12 名の最終離職(または免許取得)から受講までの期間(ブランク期間)
0.0 年～23 年（平均 8.1 年）

ブランク期間	受講生数	構成比
1 年未満	4	33%
1～ 5 年未満	2	17%
5～10 年未満	1	8%
10～20 年未満	2	17%
20 年以上	3	25%

6. 結果

各講義について、＜理解度（わかりやすさ）＞＜今後の実践に役立つか＞について 4 段階評価尺度と自由記述方式によるアンケート結果で示した。

1) 各講義のアンケート結果



2) 自己紹介・意見交換・研修の振り返り

(1) 内容

① 目標

受講生間の交流を深め、再就業への意欲をさらに高める

② 内容

- ・ アイスブレイクと受講生自己紹介
- ・ 意見交換
- ・ キャリアの棚卸を活用し過去の振り返りと今後について考える

3) 受講しての感想

- ・ 将来の看護の動向と自分自身のあり方を考えるきっかけになった。
- ・ 看護職としてのキャリアをどう活かしていくか、これからスキルアップをしていこうと思う。
- ・ 普段考えることのない人生設計。何歳まで働くか…。考えるきっかけになった。
- ・ ナースセンターは、自分の知らない情報を提供してくれたり、必要な技術の演習を教えてくださいとありがたい場所です。
- ・ 仕事を探す上で、何から始めたら良いかもわからなかったもので、その流れがよく分かった。
- ・ コロナに関する感染管理が、5類になって変化していることを学べた。また、看護技術でミスを起こさないように、手順準備を怠らないようにすることを学べた。
- ・ 現在の感染に対する対応だったり、コロナに関することだったり、再確認できた。防護具の着脱も実際に行うことができよかったです。
- ・ 自宅を出て、研修に参加することで、就職への不安を1つずつ取り除くような気分になれた。前進するきっかけになります。
- ・ 初日はとても緊張したが、講義をしてくださる先生方が優しそうで安心した。講義の内容もわかりやすく、一歩踏み出して良かったなと思った。
- ・ 参加者の皆様の状況や考えを知ることができ、少し不安が軽くなった気がします。
- ・ 仕事探しをする中で、1歩踏み出せない自分がいたが、皆さんの話を聞いて、この研修に来たことで踏み出せた気がした。少し勇気が出た。
- ・ フィジカルアセスメントについてわかりやすく、講義していただいて、学ぶ楽しさ知る楽しさも加わって、やる気が湧いてきた。忘れていた内容を改めて知るチャンスをいただき、ありがとうございました。
- ・ 講義を受けて、観察ポイントや事例を教えてください、参考になった。忘れていた記憶が蘇った。フィジカルアセスメントが苦手だったが、講義を聞いて楽しいと思った。聴診器の当て方がわかってよかった。
- ・ 苦手とするフィジカルアセスメントの講義がとてもわかりやすかった。
- ・ 人間の特性、環境要因を踏まえて思い込まず、間違っているかもしれないと考えて、行動しなければ、小さなミスから重大なミスを起こすことが学べた。小さなミスを防ぐために確認していくことの重要性を学べた。
- ・ 講義を聞いて、時間に余裕ができたなら、再度病棟で働きたいと思った。
- ・ もっと早く、研修に参加しておけばよかったと二日間を通して強く思った。

4) 取り入れてほしい講義

- ・ フィジカルアセスメント、医療安全、点滴、採血は引き続きお願いしたい。
- ・ 心臓マッサージや救急処置のことが知りたいのでしてほしい。

7. まとめ

広報は、情報誌、新聞、市町村広報誌、ハローワーク等で行い、研修の申込は14名であったが家族の体調不良等に伴い12名の参加となった。

研修内容については、アンケートの結果のとおり満足度の高いものとなった。演習をすることで感染管理やフィジカルアセスメントについても理解が深まり、学ぶことの楽しさを感じた方も多かった。受講者間のつながりや自分だけではないという気持ちになり励まされたという感想もあった。また、今回は、この研修が一步踏み出せるきっかけになったという感想が多かった。

受講者は参加することを決心し研修に申し込み、会場に足を運ぶこと自体にも不安を感じている。その不安な気持ちに寄り添いながら受講者の状況に合わせて就業を支援していきたい。

研修の様子

復職支援講座の様子



感染管理 個人防護具の着脱の様子



フィジカルアセスメント 呼吸音の聴取の様子

